

あくね市「にここほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
1 地域における子育ての支援					
(1) 地域における子育て支援サービスの充実 ※計画策定時（平成21年度）において ●は実施中の事業、○は実施予定の事業					
乳幼児全戸訪問	生後4ヶ月を迎えるまでの乳児のいる家庭を訪問し、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図り、子育て中の母親の孤立を防ぎます。	健康増進課	●こんにちは赤ちゃん事業 ●新生児訪問	保健師による訪問 新生児訪問 71件 乳児訪問 52件 こんにちは赤ちゃん事業 155件	継続。
養育支援訪問事業	乳幼児全戸訪問事業の実施結果や関係機関からの情報提供等により、養育支援が必要であると判断した家庭に対し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、適切な養育の実施を確保します。	健康増進課	●乳幼児訪問	適宜実施。	養育支援が必要と判断した場合、保健師のみならず、関係機関と連携し定期的な訪問等を実施する。
子育て支援センター事業	育児不安に対する相談支援や子育てサークルへの支援等を行い、地域における子育て支援の核として、また交流の場として、子どもを安心して生み育てることのできる環境づくりの拠点になるよう活動内容の充実を図ります。	生きがい対策課	—	阿久根市子育て支援センター（生きがい対策課内）とみどりが丘保育園で実施。	阿久根市子育て支援センターとみどりが丘子育て支援センターの役割分担を行い、みどりが丘支援センターは親子教室を中心とした活動を、阿久根市子育て支援センターは他の保育園・幼稚園など子育て支援機関の情報収集を行い情報の発信や関係機関を繋ぐ役割を担っていくことが必要。
(2) 保育サービスの充実					
サービス提供体制の整備	子どもの幸せを第一に考え、利用者の生活実態及び意向を十分に踏まえたサービスの提供を行います。また、今後の企業誘致などの将来展望を踏まえ、適正な保育所入所に努めます。	生きがい対策課	—	22年度は公立保育園1園、私立保育園6園で4月1日現在の市内の入所児童は468名で待機児童は無い。	国の保育行政の動向を見ながら、保育園・幼稚園を含めたなかで公立保育所のあり方検討を行い公立保育所の運営方針を決定していく必要がある。
保育環境の整備	近年の社会的な不況の中で保育所入所希望者も増加傾向にあることから、老朽化した保育所の施設整備や地域ごとの保育ニーズの把握に努め、保育行政協議会等での十分な議論を踏まえ適切な定員管理を行っていきます。	生きがい対策課	○保育所の施設整備事業	おりた保育園の施設整備を国の安心こども基金を活用して行い、平成23年度中に完成予定。 保育園の定員管理については、市の方針について保育行政協議会に諮り意見収集をした上で決定している。	保育所の定員については、人口の動向や、児童数の推移等のデータを下に見、保育行政協議会での議論を踏まえ決定していく必要がある。
保育サービスの充実	核家族化や就労形態の多様化等に伴う様々な保育ニーズに対応した事業を推進します。また、休日や病時・病後時保育についての保護者ニーズに応えるため、休日保育や病時・病後時保育事業の導入について検討します。	生きがい対策課	●延長保育事業 ●一時預かり事業 ●保育所体験事業 ●地域子育て支援センター事業 ○休日保育事業、病時・病後時保育事業の導入	●延長保育・・・市内全園で実施。 ●一時預かり事業・・・市内全園で実施。 ●保育所体験事業・・・私立保育園5園で実施。みなみ保育園においては園開放を実施。 ●地域子育て支援センター事業・・・阿久根市子育て支援センターとみどりが丘保育園子育て支援センターの2箇所を実施。お互いに連携をはかりながら事業を行っている。 ●休日・病時保育等は取組なし	今後も保護者のニーズに応えるため、特別保育事業を実施していく必要がある。
保育サービスに関する情報提供の充実	保育サービスの利用者による選択や子どもの健やかな育成と子どもを預ける保護者の安心の確保の観点から、保育サービスに関する積極的な情報提供に努めます。	生きがい対策課	●市広報やホームページを利用した保育サービス情報の提供の推進	ホームページに保育園情報を掲載している。	平成23年度から各園が行っている特別保育事業の紹介などきめ細かな保育サービスについての情報提供を行う予定。

あくね市「にこにこほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
保育サービスの質の向上	保育行政協議会における情報交換を積極的にを行うことで連携の強化を図り、さらに、保育士を対象とした研修会等の実施に向けて検討を行います。	生きがい対策課	●保育行政協議会の開催	平成22年度は、保育行政協議会を2回開催した。保育士の研修会の実施については取組はなし。	保育士の研修については今後の検討課題。
サービス評価システムの導入	保育サービスの質を担保する観点から、サービス評価等の仕組みの導入、実施等について、取組を進めます。	生きがい対策課	—	一部の保育園で自己評価を実施。	サービス評価の導入については、国も保育指針に示しており、自己評価及び第三者評価の導入について、取組を進めたい。
(3) 子育て支援のネットワークづくり					
子育て支援サービス等のネットワークの形成	きめ細やかな子育て支援サービス・保育サービスを効果的・効率的に提供するとともに、サービスの質の向上を図る観点から、子育て支援センターを中心に、NPOや社会福祉協議会、母親クラブ、子育てサークル等子育て支援に携わる関係団体とのネットワーク化を図ります。	生きがい対策課	●子育て支援センター事業 ○子育てサークル活動事業の充実	子育て支援センター事業において親子サークル、地域と連携した活動を行っている。	更に様々な子育て支援機関とのネットワーク化を図り決め細やかな支援サービスの提供を目指す。
子育て支援サービス等に関する情報提供の充実	子育て支援メニューやホームページ、子育て支援情報誌などを通じて、子育て支援サービス等に関する積極的な情報提供につとめます。	生きがい対策課	○子育て情報誌の作成・配布	22年度は取組なし	23年度から毎月、子育て支援情報誌「あいこでしょ」を発行し、子育て支援施設の紹介等を掲載している。情報誌は各保育園・幼稚園に配布するとともにホームページにも掲載。今後も紙面の充実を図っていく。
子育てに関する意識啓発	子育て支援センターや子育てサークル、母親クラブ等と連携し、子育てに興味のある住民を対象として子育てセミナーを実施し、地域全体で子育てへの理解・協力を促進します。	生きがい対策課	—	22年度は6月に子育て講演会を実施。(講師：出水養護学校教諭)	子育てに関する意識啓発をはかるため関係機関と連携し事業を展開する必要がある。23年度は「親子ふれあいフェスタ」を開催予定。
(4) 児童の健全育成					
安心・安全な居場所づくり	すべての子どもが放課後や週末等に、学習や体験活動、交流活動など、自主的に参加できる地域の活動を充実させるとともに、自由に遊ぶことができる安心・安全な居場所づくりを進めます。	生きがい対策課	●放課後児童健全育成事業	市内6か所で児童クラブを開設。	平成23年度は西目児童クラブを開設。今後、70名以上の利用がある大規模クラブの分割や老朽化した施設で行っているクラブの施設改修が必要。また、クラブの指導員の資質向上を図るための研修の実施も検討。
		生涯学習課	○放課後子ども教室の開設	西目放課後子ども教室、脇本放課後子ども教室の開設	西目放課後子ども教室→児童クラブへ移行 脇本放課後子ども教室→規模を縮小し開設したが、23年度末をもって終了とする。
児童の健全育成	児童館、公民館、青少年教育施設、学校等の社会資源や主任児童委員、児童委員、子育てに関する活動を行うNPO、母親クラブなどの地域ボランティア団体、子ども育成会、自治会等を活用した児童の健全育成を図る取組を推進します。	生きがい対策課	●母親クラブへの運営補助の実施	阿久根おひさまクラブへ地域組織活動費の助成	学校や地域、ボランティア団体が一体となった取組の推進。
		生涯学習課	●海の子カーニバルの実施・小学生を対象にして「泳げない子どもの水泳教室」	「泳げない子どもの水泳教室」は、6月2日～8月8日まで実施。海の子カーニバルは参加者が少なかったため、代わりに教室生のカヌー体験教室を実施した。	海の子カーニバルへの参加者の確保。

あくね市「にここほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
児童館の活用	子育て家庭が気軽に利用できる自由な交流の場として、育児サークル等の活動を充実させるとともに、児童館を拠点とした中学生・高校生の活動の展開を図ります。	生きがい対策課	—	鶴川内児童館で育児サークルを実施中。	中高生や修学していない18歳未満の児童への相談支援や活動支援ができる体制づくりをする必要がある。
青少年の健全育成	地域における青少年の活動拠点として、青少年教育施設を中心とした多様な体験活動の機会の提供等を行うとともに、各施設で実施する青少年向けイベントへの積極的な参加を促進します。	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ●華のぼんたん学寮の実施 ●ジュニアリーダー初級・中級研修会 ●ジュニアリーダー及び高校生クラブ交流大会 ●地区子ども会大会 ●青少年ふるさと美化活動 ●単位子ども会対抗球技大会 	6月17日～6月20日（青年の家）市内小中学生46名参加 ジュニアリーダー養成研修（出水市）2名 ジュニアリーダー養成事業（年3回 鹿児島市）2名 8月20日～21日（鹿児島市）高校生1名、中学生7名参加 12月18日（さつま町）阿久根市より36名参加 7月25日を県下一斉活動日として実施市内54団体 2,239人参加 実施なし	市子連との連携及び事業内容の充実。 ジュニアリーダー（中・高生）の参加者の確保。 中学生・高校生の参加者の確保。 ジュニアリーダー、高校生クラブの結成。 平成23年度は阿久根市での開催。市子連との連携による効果的な実施と参加促進。 取組内容の周知と参加者の確保。 球技大会の実施予定なし。他の子ども会事業の充実。
学校施設等の開放などによる児童の居場所づくり	学校開放等による小中学校のグラウンドの活用を進めるとともに、スポーツ少年団等の育成充実を図ることにより、児童の居場所の確保を図っていきます。	生涯学習課	○学校体育施設の開放の促進と利用者マナーの向上	—	—
主任児童委員又は児童委員の子育て家庭への支援	地域における児童の健全育成や虐待の防止などに関する子どもと子育て家庭への支援を、住民と主任児童委員及び児童委員が一体となって進めます。	生きがい対策課	●行政と主任児童委員との意見交換会	家庭相談員と主任児童委員との情報交換会（年4回）の開催や学校訪問（年1回）を実施。	引き続き、情報交換を密に行い、地域の民生児童委員と協力して支援を行っていくことが必要。
性の逸脱行動の問題点等に関する教育・啓発	性の逸脱行動の問題点等について、教育・啓発を推進します。	健康増進課	●健康教育のための出前講座	実施なし	専門的知識が必要であり実施は困難。実施する際は専門の講師の準備が必要。
		学校教育課	●管理職研修会、養護教諭等研修会における指導	養護教諭等研修会において各学校の取り組みについて情報交換を行った。	・系統的・計画的な指導の推進 ・SC, SSW, 関係機関との連携
いじめや不登校など問題行動への対応	いじめや少年非行、引きこもり、不登校などの問題行動に対して、地域や教師、PTA、行政等が連携して、地域社会全体で対処する体制づくりを行います。また、これらの問題に関する講演会の開催や啓発のための研修等に取り組みます。	生きがい対策課	●家庭相談員事業	家庭相談員1名配置して相談事業を実施。平成22年度相談件数延べ365件。	平成23年度から相談員を2名配置。その他、不登校や引きこもりなどの児童に対応するため専門相談機関に委託し相談支援の充実を図る。
		学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ●スクールカウンセラー（SC）・スクールソーシャルワーカー（SSW）派遣事業 ●家庭相談員、SC, SSWとの連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー（SC）の派遣 ・スクールソーシャルワーカー（SSW）派遣 ・学校関係者、児童対策係、SC, SSWによるケース検討会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・未然防止、早期発見、早期対応の徹底 ・SC, SSW, 関係機関との積極的な連携
		生涯学習課	●青少年補導センター電話相談	随時相談を受け付けている。17:30以降も留守番電話にて対応。	相談件数は多くないが、今後も継続していく。相談窓口の周知を図る。

あくね市「にここほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
(5) 子育て家庭の経済的支援					
妊娠・出産期における経費の助成	妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、安心・安全な妊娠・出産を確保するため妊婦健康診査に対して助成を行います。また、不妊に悩む夫婦に対して不妊治療費の助成を行い、経済的負担の軽減を図ります。	健康増進課	●妊婦健康診査の支援 ●特定不妊治療費助成事業	妊婦健康診査 1,725件 1,117万円 特定不妊治療費助成 4件 326,410円 (新規2件, 継続2件)	県の不妊治療費助成事業と共に, 市の特定不妊治療費助成事業の周知
乳幼児医療費助成事業	小学校就学前までの乳幼児を対象に医療費を助成することにより子育て世帯の経済的負担を軽減し, 乳幼児の疾病の早期発見と早期治療を促進し, 健康の保持増進を図ります。	生きがい対策課	●乳幼児医療費助成事業	小学校就学前までの児童に対し, 医療費の一部負担金を全額助成。	近隣市が中学生までに助成年齢を引き上げており, 平成24年度から本市も中学卒業までに引き上げる予定。23年度はその準備作業を行う。
保育料の負担の軽減	子育て世帯の経済的負担を軽減するため保育料の負担の軽減を図ります。さらに多子世帯の第3子以降の保育料の助成を行います。	生きがい対策課	●多子世帯保育料軽減 ○平成22年度から保育料の軽減措置(半額程度)	平成21年度に引き続き, 多子世帯保育料の軽減を実施。 平成22年度から保育料の減額措置(半額程度)を実施。	引き続き, 多子世帯保育料の軽減と保育料の軽減措置を実施し子育て支援策の充実を図る。
幼稚園の保育料等の負担軽減	私立幼稚園に通園する児童の保護者に対し, 所得の状況に応じて保育料等の負担軽減を図ります。	教育総務課	●幼稚園就園奨励費補助事業 ●多子世帯保育料軽減	・幼稚園就園奨励費補助事業 134件 14,611,700円 ・多子世帯保育料軽減事業 12件 271,196円	引き続き, 多子世帯保育料の軽減と保育料の軽減措置を実施し子育て支援策の充実を図る。
学校給食費の負担軽減	子育て世帯の経済的負担を軽減するため学校給食費への補助を行います。	教育総務課	○学校給食費の補助を平成22年度から実施予定	未実施	
子ども手当の支給	中学校卒業までの児童のいる世帯に対して手当を支給し経済的負担の軽減を図ります。	生きがい対策課	○子ども手当支給事業	平成22年度より子ども手当の支給開始。	国の制度改正により手当そのものが継続されるか不明なため国の動向を注視し遺漏の無い事務処理に努める。
かごしま子育て支援パスポート事業の推進	パスポートを提示した子育て家庭に対し, 企業や店舗独自に割引や優待サービスなどを提供することにより, 地域全体で子育てを支援する気運の醸成を図ります。	生きがい対策課	●かごしま子育てパスポート事業	市内の協賛店舗は25店舗	今後はパスポート所持者の拡大と協賛店の拡大を図り, 地域全体で子育てを支援する気運を高めていくことが必要。
出生祝い商品券の支給	次世代を担う子どもの出生を祝福し, その健やかな成長を願うとともに, 育児に要する経費の経済的支援を行う。	生きがい対策課	○出生祝い商品券支給事業	平成23年度からの新規事業	平成23年度より, 出生祝い商品券を支給し, 子育てに係る経済的負担の軽減を図る。

あくね市「にここほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
(6) ひとり親家庭等の自立支援の推進					
福祉サービスの充実	ひとり親家庭が増加している中、ひとり親家庭に配慮したきめ細やかな子育て支援サービスの展開を図るとともに、保護者の自立に向けた生活支援策、就業支援策、養育費の確保策、経済的支援策等について、地域のひとり親家庭の現状を把握しつつ、統合的な支援に取り組みます。	生きがい対策課	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童扶養手当支給事業 ● ひとり親家庭医療費助成事業 ● 母子世帯に対する保育料の軽減措置 	児童扶養手当やひとり親家庭医療費の助成事業等の窓口での相談の際、保育園の入所案内や家庭相談室の紹介等を行いサービスの情報提供に努めている。	父子家庭などへの家事援助などの生活支援策や母子家庭の母への就業支援についての取組がないのでニーズの把握と検討を行う必要がある。
母子家庭の母親の就業促進	母子家庭等就業・自立支援事業や母子家庭自立支援給付金事業等の周知を図り、各種制度の活用指導を行い、母子家庭等の母の自立に向けた就業を支援します。	生きがい対策課	<ul style="list-style-type: none"> ● 母子家庭対策等総合支援事業 	高等技能訓練促進費の平成22年の給付者数3名	母子家庭の母の自立支援施策について周知を図ることが必要。
相談体制及び情報提供の充実	ひとり親家庭に対する、相談体制の充実を図るとともに、関係機関が取り組む支援策に関する情報提供を行います。	生きがい対策課	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭相談事業 ○ 市広報やホームページ等での支援策の情報提供 	家庭児童相談室において相談に応じている。	平成23年度より国の「住民生活に光をそそぐ交付金」事業により家庭相談員を2名体制にしたことから、ひとり親家庭に対する支援策の情報提供を更に行っていききたい。また、市のホームページや広報を活用した情報提供も強化していく必要がある。
(7) その他					
世代間交流の推進	地域における子育て支援策を実施するに当たって、子育て支援センター、各保育所・幼稚園において地域の高齢者等の参画による異世代交流を行います。	生きがい対策課	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者と若い親子との共催による「生き生きサークル」の実施 	高齢者との「いきいきサークル」の実施。地域の住民の参画による子育て支援サークル「めだかの学校」を山下新城公民館で実施。	今後も継続して実施予定。
社会資源の活用	学校の余裕教室や公共施設の余裕空間、商店街の空店舗等の活用による、各種子育て支援サービスの場を検討します。	生きがい対策課	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童館の空き時間の利用 ● 農村環境改善センター、各地域の公民館を利用した子育てサロンの開催 	鶴川内児童館・農村環境改善センター・地域の公民館等を利用した子育てサロンを実施。	その他の社会資源の活用についても検討していく必要がある。

あくね市「にこにこほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度取組状況	平成23年度以降の課題
2 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進					
(1) 子どもや母親の健康の確保					
各種健診・指導の充実	各種健診時や家庭訪問等を通じて、妊娠期から幼児期における子どもと母親の健康の確保及び増進を図ります。また、各種健診の受診率の向上を目指します。	健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> ●乳幼児健康診査 ●育児相談 ●家庭訪問 ●両親学級 	3か月・9～11か月児・1.6歳児・3歳児健診、6か月児・11か月児育児相談、2歳・2.6歳児歯科健診を実施。育児相談及び1.6歳児健診以外は受診率が向上。育児相談にて他機関との連携。	育児相談及び1.6歳児健診の受診率の向上。保健指導及び問診等の見直し。
乳幼児健診等の機会における相談指導及び事故予防等の啓発の充実	育児に関する様々な不安や悩みの解消を図るため、各種健診の場を活用した相談指導等の充実を図るとともに、子どもの虐待の発生子防や障がいの早期発見に関する啓発を進めます。また、妊娠期から幼児期において継続した支援を行う体制づくりに取り組みます。	健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> ●こんには赤ちゃん訪問事業 ●乳幼児健康診査 ●育児相談 ●家庭訪問 ●両親学級 	年間計画通り実施済み。地区分担制にすることで、新生児期から一貫した継続支援を実施している。また、子どもの成長発達に不安のある親子に対し、発達相談や巡回療育相談、親子教室等を案内し、子育て支援センターやこじかと協力して支援している。	虐待の発生子防や障がいの早期発見のため、他機関との連携も含め健診後のフォローの徹底。保健予防係でのケース検討開催。
	各種健診等の場を通じて、誤飲、転落、転倒、やけどなど子どもの事故予防のための啓発に取り組みます。	健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> ●乳幼児健康診査 ●育児相談 	健診で、発達に合わせた事故の特徴、予防方法を含め保健指導及びチラシの配布を実施。	継続実施。
「いいお産」の適切な普及及び妊婦に対する出産準備教育や相談の場の提供	妊娠中は精神的にも不安定になることが多いことから、母親が安全で、安心して出産できるよう、両親学級や相談窓口の充実に取り組むとともに、出産後の子育て支援サービス等の情報提供に努めます。	健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> ●母子手帳交付事業 ●妊婦健康診査の支援 ●両親学級 ●こんには赤ちゃん訪問事業 	妊娠中に必ず1度は電話相談を実施。初産婦には特に両親学級の参加を呼びかけている。	継続実施。
(2) 食育の推進					
食に関する学習の機会や情報提供の充実	正しい食事の摂り方や望ましい食習慣の定着、食を通じた心身の健全な育成を図るため、食育に関する体験活動や子ども参加型の取組を促進するとともに、「食事バランスガイド」の普及及び食育に関する情報提供に努めます。また、食育基本法に基づき、学校給食における地場産物の活用や「食」に関する体験活動などを通じて食育の推進を図ります。	健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> ●乳幼児健診、育児相談、家庭訪問、両親学級、親子教室等における助言・指導 ●食生活改善推進員による地区活動 	健診等で離乳食や歯磨き指導の時に併せて、正しい食事の摂り方や望ましい食習慣の定着のため栄養士により栄養指導を実施。	発達に合わせた分かりやすい資料や保健指導の実施。
		学校給食センター 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ●栄養教諭による市内全小・中学校を対象とした「食育の指導」の実施 ●学校給食週間を中心として、「地域の特色を生かした献立」による学校給食を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【学校教育課】 ・栄養教諭による市内全小・中学校を対象とした「食育の指導」を年間56回実施 【学校給食センター】 各学期毎に地域の産物を利用した学校給食を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 【学校教育課】 ・各学校の食育全体計画の整備・充実 ・家庭との連携による食習慣の定着 【学校給食センター】 今後も継続して実施。「丸干いわしの揚げ煮」「一口文旦漬」等
		農政課	<ul style="list-style-type: none"> ●地場産物の学校給食への推奨・地域の地場産物直売場の情報提供及び支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・出水地域食育・地産地消推進意見交換会出席 ・防災無線及び広報による直売所の情報発信（広報支援） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産物等の価格差の解消 ・更なる情報の周知徹底

あくね市「にこにこほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の実施状況	平成23年度以降の課題
<p>妊産婦等を対象とした食に関する学習の機会及び情報の提供</p>	<p>近年の低出生体重児の増加等を踏まえ、妊娠中の母性の健康の確保を図る観点から、妊産婦等を対象とした食に関する学習の機会や情報提供を進めます。</p>	<p>健康増進課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●母子手帳交付事業 ●両親学級 	<p>母子手帳交付時に食に関するリーフレットを渡し指導、両親学級で栄養士による栄養指導を実施。</p>	<p>継続実施。</p>

あくね市「にこにこほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
規則正しい生活習慣の育成	食生活の乱れや「思春期やせ」が増加傾向にあることから、子どもの成長過程に応じた望ましい食習慣の定着を地域全体で連携し、支援していきます。	健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> ●食生活改善推進員による小学生に対する食育教室 ●乳幼児健康審査 	食生活改善推進員による小学生に対する食育教室（朝食づくり・おやつづくり）を実施（山下小・折多小）。	「思春期やせ」等の食習慣についての指導は、学校教育課等の協力が必要。
(3) 思春期保健対策の充実					
性や性感染症予防に関する知識の普及	10歳代の人工妊娠中絶の増加や、性感染症罹患率の増大等の問題に対応するため、性や性感染症予防、エイズ等に対する正しい知識の普及を図ります。	健康増進課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ●管理職研修会 ●養護教諭等研修会に生ける指導 ●学校保健会の取組・実践 	【健康増進課】 未実施。 【学校教育課】 養護教諭等研修会において各学校の取組について情報交換を行った。各学校の保健学習、学級活動での取組	【健康増進課】 普及啓発方法、場所等の検討。10歳代の人工妊娠中絶については、今後、現状把握と普及方法を検討。 【学校教育課】 系統的・計画的な指導の推進 小中連携を図った性教育指導計画の充実
人材の育成及び相談体制の充実	喫煙や飲酒、薬物乱用等の防止に関する教育の充実を図るとともに、学校の養護教諭・学校に配置している相談員による相談、対応、支援の充実を図ります。また、学童期・思春期の心の問題に対応するため、教師等に対する研修や心の問題に関する専門的人材の育成に努め、相談体制の充実に取り組みます。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ●カウンセリング研修会 ●スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー派遣事業 ●管理職研修会、養護教諭等研修会における指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング研修会の実施。 ・スクールカウンセラーによる校内研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校段階での発達段階に応じた喫煙・飲酒、薬物乱用防止に関する教育の充実 ・カウンセリング講習会の充実
(4) 小児科医の充実					
医療情報の提供	初期救急についての普及啓発に取り組むとともに救急対応が可能な医療機関等の情報提供を行います。	健康増進課 生きがい対策課	<ul style="list-style-type: none"> ●医師会との連携 ●休日・夜間の小児科当番医の広報・周知 ○小児救急電話相談の普及 	【健康増進課】 市の広報と同時配布されている「毎月のごよん」で当番医周知。 3か月時健診にて、小児救急電話相談のカード配布。	継続実施。
小児救急医療体制の確保	県及び近隣の市町、関係機関との連携の下、小児救急医療体制の整備に積極的に取り組みます。	健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> ●保健所・医師会との連携 	出水地区2市1町で構成されている出水地区医療問題協議会救急医療対策小委員会において、小児夜間一次救急医療体制について協議	全国的な医師不足、とりわけ小児科医不足により、小児救急医療体制も危機的状況であることから今後も更なる連携が必要。

あくね市「にこにこほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備					
(1) 次代の親の育成					
男女共同参画 社会の推進	男女が協力して家庭を築き、子どもを 生み育てることについての教育・広 報・啓発について、各分野が連携して 取り組みます。	企画調整課	●男女共同参画についての情 報提供の充実及び理解を深め る、広げるための広報・啓発 の展開	男女共同参画週間（6/23～29）の広報 各種会議の中で広報啓発に努めた。	依然として性別役割分担意識が根強く、男女 共同参画についての理解を促進するため、教 育・学習の充実を図る必要がある。
		生涯学習課	●サンサンミセス大会の開催	選挙のため中止	女性団体活動の充実のための支援と連絡協議 会活動の充実へ向けた支援。
中・高校生に おける乳幼児 と触れ合う機 会の促進	中学生、高校生などが、子どもを生み 育てることの意義を理解し、子どもや 家庭の大切さを理解できるよう、保育 所、幼稚園、児童館及び育児相談、親 子教室の場等を活用し、乳幼児とふれ あう機会を充実させます。	健康増進課		未実施。	関係機関との相談が必要。
		学校教育課	●家庭科、保健体育課、道徳 の授業を通じた指導 ●保育所、幼稚園等における 職場体験学習	・家庭科、保健体育科、道徳の授業を通 じた指導 ・保育所、幼稚園等における職場体験学 習の実施	小学校段階からのキャリア教育の充実 中学校の職場体験学習の充実
		生きがい対策課		みなみ保育園での職場体験学習に受け入 れ	すべての中高生に対して、乳幼児とふれあ う機会を作る取組が必要。
(2) 子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備					
学校教育の活 性化	子どもが社会の変化の中で主体的に生 きていくことができるよう子ども一人 ひとりに応じたきめ細かな指導の充実 や学習支援員の配置による学校教育の 活性化に取り組みます。	学校教育課	●学校教育支援教員配置事業 ●特別支援教育支援員配置事 業	・中学校2校に学校教育支援教員配置 ・小学校8校、中学校2校に特別支援教 育支援員配置	・子どもの実態把握と一人ひとりに応じた細 かな指導の充実 ・支援教員や支援員の効果的な活用
児童生徒の学 力の向上	各種学力調査の結果から、一人ひと りの課題を把握し、解決のための取組を 進めます。	学校教育課	●全国学力・学習状況調査、 鹿児島県「基礎・基本」定着 度調査、全国標準学力検査 （NRT）の実施と分析 ●学校訪問等による校内研修 の充実 ●研究指定による授業力の向 上●小中高学力向上連絡会の 充実	・全国学力・学習状況調査、鹿児島 県「基礎・基本」定着度調査、全国標準学 力検査（NRT）の実施と分析を各学校 で実施。 ・校内研修への指導主事等の派遣 ・年4回、小・中・高学力向上連絡会を 開催	・子どもの学力等の実態把握と一人ひとりに 応じた細かな指導の充実 ・校内研修や各種研修会の実施による一人ひ とりの授業力の向上
道徳教育及び 体験活動の充 実	豊かな心をはぐくむため、指導方法や 指導体制など、各学校の取組に対し、 支援・指導を行います。また、道徳教 育の充実を図るとともに、地域や学校 などと連携・協力により、体験学習を 一層充実し、特色ある学校づくりを 行ってもらよう支援指導していきます。	学校教育課 生涯学習課	●道徳指導法研修会 ●宿泊体験学習 ●華のぼんたん学寮 ●阿久根市未来をひらく「阿 久根っ子」事業	【生涯学習課】 ・華のぼんたん学寮 6月17日～6月20日（青年の家） 市内小中学生46名参加 【学校教育課】 ・道徳指導法研修会を実施 ・全小中学校で集団宿泊学習を実施 ・阿久根市未来を開く「阿久根っ子」事 業で伝統芸能の継承活動や農業体験活動 など特色ある教育活動を実施	【生涯学習課】 ・華のぼんたん学寮 市子連との連携及び事業内容の充実。 【学校教育課】 ・豊かな心や規範意識を醸成する道徳教育の 充実 ・地域に根ざし、創意工夫による特色ある学 校づくりの推進

あくね市「にここほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策		平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
	問題行動や不登校に対する相談体制の強化	いじめ、少年非行等の問題行動や不登校に対応するために、相談体制の強化を図ります。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ●スクールカウンセラー配置事業 ●スクールソーシャルワーカー派遣事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校2校にスクールカウンセラー配置 ・学校の要請によりスクールソーシャルワーカー派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と関係機関のより一層の連携 ・S CやS S W等を活用した関係機関との連携の強化
	関係機関によるネットワークの構築	いじめ、少年非行等の問題行動や不登校に対応するために、児童相談所、子育て支援センター、福祉事務所相談員、スクールソーシャルワーカーとの連携を密にし、情報の共有化に努めます。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ●スクールカウンセラー配置事業 ●スクールソーシャルワーカー派遣事業 ●生活指導研究協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校2校にスクールカウンセラー配置 ・学校の要請によりスクールソーシャルワーカー派遣 ・年3回生活指導研究協議会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と関係機関のより一層の連携 ・S CやS S W等による相談体制の強化
	スポーツ活動等の充実	子どもの体力の低下や生活習慣の乱れ、肥満の増加などが指摘されています。子どもの運動への関心意欲・態度や生涯にわたって積極的にスポーツに親しむ習慣を育成するため、体育の授業及び運動部活動を充実させるとともに、その指導に当たる教員及び外部指導者の育成に努めることで、学校におけるスポーツ環境の充実に取り組みます。また、スポーツ少年団等の育成・充実を図るとともに、スポーツを楽しむ・親しむ環境づくりと指導者の養成・確保を積極的に支援します。	学校教育課 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ●運動部活動外部指導者派遣事業の推進 ●一校一運動の推進 ●スポーツ少年団の育成と活動の充実 ●スポーツ少年団の指導者育成と資質の向上 ●スポーツ少年団交歓大会への参加 ●泳げない子どもの水泳教室 ●海の子カーニバル（遠泳）の計画と実施 ●海洋性スポーツ指導者育成 ●海洋性スポーツ体験学習、スポーツ教室 ●あくねボンタンロードレース大会への参加 	<p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1校1運動の取組の実施 ・中学校運動部活動の充実と競技力の向上を図る。 ・全国大会・九州大会への参加費の補助を実施 <p>【生涯学習課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団25団体454名の団員 ・鹿児島県が実施する指導者研修会に1名参加と市で指導者会を実施した。 ・県の交歓大会及び市の交歓大会にも指導者を含め450名参加。 ・183名の参加で実施。 ・参加者が少なかったため、代わりにカヌー体験教室を実施した。 ・県の指導者研修会に2名参加。 ・カヌー体験教室を小学校2校、中学校1校実施。着衣で泳ぐ練習を実施。 ・12月13日に2,221名の参加（昨年より312名の増） 	<p>【学校教育課】</p> <p>運動の二極化が見られる。学校教育においては、運動の楽しさを味わわせ運動の生活化を図るとともに、基礎体力の育成を図る必要がある。</p> <p>【生涯学習課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団の団員の確保。 ・鹿児島県が実施する指導者研修会への参加者増と市で指導者会への参加。 ・県の交歓大会及び市の交歓大会にも指導者を含め参加者の増。 ・参加者増と指導者の確保。 ・参加者増。 ・県の指導者研修会に参加増。 ・水の事故ゼロ運動。 ・2,200名以上の参加と大会ボランティアの確保
	健康教育の推進	生涯にわたる心と体の健康づくりに必要な知識や適切な生活習慣等を身に付けさせるための健康教育を推進します。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ●養護教諭研修会における指導 ●講師招へいによる健康教育の推進 ●阿久根市学校保健研究協議会の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科保健指導充実のため歯科衛生士の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動や保健、保健体育での健康教育の充実 ・学校保健委員会の活性化及び家庭との連携の強化
	地域に根ざした特色ある学校づくりの推進	学校評議員類似制度の活用等により、地域及び家庭と学校との連携・協力を図ることや地域の実情に応じた通学区域の見直し等、地域に根ざした特色ある学校づくりに向けた支援・指導を行います。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ●学校評議員類似制度の推進 ●学校関係評価の推進 ○学校運営協議会制度の導入に向けた研修 ○第三者評価の導入の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校において学校運営の改善や地域・保護者に信頼される学校づくりのために、年3回学校関係者評価委員会を開催している。 ・阿久根市未来を開く「阿久根っ子」事業などにより、伝統芸能の継承活動や農業体験活動を行うとともに地域人材の活用を積極的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざし、創意工夫による特色ある学校づくりの推進 ・学校関係者評価委員会の充実等による開かれた学校づくりの推進

あくね市「にこにこほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策		平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
	教職員の適切な配置	学校評価システムによる事業の評価を実施し、指導力の向上に努めます。また、指導が不適切な教員に対する人事管理を公正かつ適切に行い、教員一人ひとりの能力や実績等を適正に評価できる体制づくりを支援します。また、県教育委員会と連携し、指導力向上のための研修に取り組みます。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ●教職員人事評価制度の充実 ●教育事務所合同訪問、教育委員訪問、教育委員会事務局訪問等による指導 ●資質の向上を必要とする教員に対する人事管理システムの運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問や校内研修会等で指導力向上のための指導助言 ・教職員人事評価制度の実施（自己申告・面談・業績等評価の実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員一人ひとりの指導力向上を図る校内研修等の充実 ・教職員人事評価制度の充実
	学校施設の整備の促進	学区施設や備品等の整備充実に図り、安心安全な学習環境の中で子ども一人ひとりの特性に応じた教育環境の充実に図ります。今後も、安全で豊かな学校環境の中で、子どもの健やかな成長が図られるよう、学校施設の整備に取り組むとともに、必要な助言・指導を行います。	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ●電源立地交付金事業 ●小中学校耐震工事及び大規模改修工事 ●きめ細かな交付金事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・大川小学校講堂新築工事 ・小中学校耐震工事及び大規模改修工事（平成21年度からの繰越事業、4校舎・4屋内運動場） ・校舎及び屋内運動場等の改修工事（平成21年度からの繰越事業、小学校4箇所・中学校2箇所） ・管理備品及び教育振興備品購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度で小中学校耐震工事が終了する予定であるが、今後は古くなった校舎等の大規模改修工事を計画的に実施していく必要がある。 ・学校規模適正化についての検討 ・計画的な管理備品及び教育振興備品購入
	学校を中心とした地域での見守り体制の整備	児童生徒が、安心して教育を受けることができるよう、家庭や地域の関係機関・関係団体、学校などと連携しながら、地域全体で子どもの安全を見守る環境づくりを行います。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ●スクールガードリーダー派遣事業の推進 ●交通安全マナーアップ委託事業の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・2名のスクールガードリーダーがそれぞれ年間41回通学路の巡回を実施 ・交通安全マナーアップ員が中学校区の交通指導見守り実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくりの推進 ・スクールガードリーダー派遣事業の充実
	幼児教育の質的向上	子ども一人ひとりの個性を尊重し、生きる力を育成するため、幼稚園や保育所における幼児教育全体の質の向上に取り組めます。	学校教育課 生きがい対策課	<ul style="list-style-type: none"> ●幼・保・小連携事業 	取組なし	<p>【生きがい対策課】 今後、国の子ども・子育て新システムの動向を踏まえながら、教育委員会と一体となった取組が必要。</p> <p>【学校教育課】 保幼小連絡会の実施と研修の充実</p>
	幼児教育と小学校教育の円滑な接続	子どもの発達や学びの連続性を確保する観点から、幼児教育から小学校教育の円滑な接続に取り組めます。	学校教育課 生きがい対策課	<ul style="list-style-type: none"> ●幼稚園、保育園と小学校との入学連絡会の実施 	<p>【生きがい対策課】 保育園において保育要録を作成し年度末に小学校に送付。</p>	<p>【生きがい対策課】 今後も継続して実施。</p> <p>【学校教育課】 保幼小連絡会の実施と研修の充実</p>
	幼児教育の充実	各地域の特色を考慮した幼児教育の振興に関する政策プログラムの策定に努めます。	学校教育課	—	—	—

あくね市「にここほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
(3) 家庭や地域の教育力の向上					
家庭教育支援の充実	身近な地域において、子育てに関する学習会や情報の提供、相談や専門的人材の養成などの家庭教育力の向上に関する支援を行います。	生きがい対策課 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援センターと母親クラブ等との共催による講演会や研修会の実施 ●家庭相談員による相談支援 ●家庭教育学級の開設 ●新1年生を対象にした子育て講座の実施 ●市PTA連絡協議会の開催 ○地域において子育て支援の活動を行う人材の養成 	<p>子育て講演会の開催。(6月) 家庭相談員による相談件数(延べ365件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級を市内全小中学校(13校)において開設。子育て講座を平成23年度新入学児童を持つ保護者を対象に6校で実施。 ・市PTA連絡協議会として年間を通じた研修会の開催、参加の促進。 ・家庭教育相談員の養成 	<p>今後も子育て支援機関や相談支援機関の情報提供を行い、家庭の養育力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【家庭教育学級】参加者の増加と学習内容の充実 【子育て講座】全小学校での継続開設。 【市P連】家庭教育の充実をテーマとした継続的な研修と実践 【人材の養成】人材養成のための計画的な研修会への参加
子どもの生きる力の醸成	子どもの問題を解決する力や他人を思いやる心、感動する心などの豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力を備えた生きる力を地域全体で育むため、各関係機関のネットワークの充実に取り組みます。	学校教育課 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と連携した学校行事の推進 ●地域人材バンクの整理と効果的活用 ●問題解決型学習の積極的推進 ●活用力指導法研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 【学校教育課】阿久根市未来を開く「阿久根っ子」事業で伝統芸能の継承活動や農業体験活動など特色ある教育活動を実施 【生涯学習課】人材バンクの整理と活用 <p>これまでに集約された人材バンクを各学校ごとに活用。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 【学校教育課】阿久根の自然や人材を生かした特色ある教育活動の充実 【生涯学習課】人材バンクの整理と活用 <p>平成25年度までに全学校で整備する「かごしま学校応援団」の計画的な事業の推進。</p>
活力ある地域づくり	すべての子どもが学習や遊びを通じて、確かな学力の向上、健やかな心身の育成を図ることができるよう、地域住民や関係機関等が協力し、地域の教育力の向上に取り組みます。また、生涯スポーツの実現のために、地域住民のだけれども、年齢、体力、技術レベルに応じて活動できる総合型地域スポーツクラブの設立を促進するとともに、子どもからお年寄りまで各世代がスポーツを楽しめる施設の整備充実を図り、小・中学校グラウンド・体育館等の活用を推進します。	学校教育課 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ●学校評議員類似制度の推進 ●水産教室(体験学習) ●魚食普及の啓発活動(料理教室) ●スポーツ少年団の育成と活動の充実 ●スポーツ少年団の指導者育成と資質の向上 ●スポーツ少年団交歓大会への参加 ●泳げない子どもの水泳教室 ●海の子カーニバル(遠泳)の計画と実施 ●海洋性スポーツ指導者育成 ●海洋性スポーツ体験学習、スポーツ教室 ●あくねボンタンロードレース大会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団25団体454名の団員 ・鹿児島県が実施する指導者研修会に1名参加と市で指導者会を実施した。 ・県の交歓大会及び市の交歓大会にも指導者を含め450名参加。 ・183名の参加で実施。 ・参加者が少なかったため、代わりにカヌー体験教室を実施した。 ・県の指導者研修会に2名参加。 ・カヌー体験教室を小学校2校、中学校1校実施。着衣で泳ぐ練習を実施。 ・12月13日に2、221名の参加(昨年より312名の増) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団の団員の確保。 ・鹿児島県が実施する指導者研修会への参加者増と市で指導者会への参加。 ・県の交歓大会及び市の交歓大会にも指導者を含め参加者の増。 ・参加者増と指導者の確保。 ・参加者増。 ・県の指導者研修会に参加増。 ・水の事故ゼロ運動。 ・2、200名以上の参加と大会ボランティアの確保

あくね市「にここほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策		平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
	教職員による地域活動の参加の促進	教職員の地域行事への積極的参加に向けた啓発を行います。	学校教育課	—	—	—
	読書活動の推進	市立図書館を読書活動の拠点とし、本市子ども読書活動推進計画に基づいた読書活動の充実のための支援に努めるとともに、「子ども読書の日（4月23日）」や「子どもといっしょに読書の日（毎月23日）」の周知や啓発を図りながら、読書グループの育成や親子読書会の支援を行います。さらに、乳幼児の健康診断時を利用したブックスタート事業の充実を図ります。	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ●ブックスタート事業 ●本に親しむ集い（図書館まつり） ●パンビ教室（読み聞かせ会） ●親子読書交流会 	市立図書館でのブックスタート事業の実施 指定管理者制度を活用し図書館業務を委託し、適正な管理運営に努めた。また、読書活動グループへの支援、親子読書会研修会への参加促進を行った。	引き続き指定管理者制度を継承しながら図書館業務を委託し、適正な管理運営を図るとともに、読書活動グループの支援を行う。
(4) 子どもを取り巻く有害環境対策の推進						
	地域における有害環境対策の促進	学校、家庭、地域、関係団体が連携し、青少年の健全な育成を害すると思われる有害な環境の浄化に努めます。	学校教育課 生涯学習課	●校外生活指導連絡会による街頭補導	校外生活指導連絡会を長期休業前に年3回実施。 校外生活指導連絡協議会と各学校単位PTAによる街頭補導を延べ109回、485人の参加で実施。	定期的な街頭補導の実施の継続。
	子どもの携帯電話の適切な利用の促進	子どもの携帯電話やインターネットの利用の実態を把握し、問題点を明確にすることで適切な利用を促します。	学校教育課 生涯学習課	●管理職研修会、生活指導連絡協議会等における指導	【校外生活指導連絡会】 携帯電話の適切な利用についての検討、協議については未実施。	【校外生活指導連絡会】 年1回を目処として、携帯電話の適切な利用についての協議内容の設定。
	情報モラル教育の推進	情報モラル教育に関する研修会への参加を推進し、授業等で児童・生徒へ児童することで、情報モラル教育を推進します。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ●情報モラル研修会への案内 ●社会科、総合的な学習の時間における情報モラルに関する指導 ●情報モラルに関する資料の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職研修会で情報モラルに関する指導の実施 ・学年の発達段階に応じた情報モラルに関する指導の実施 ・情報モラルに関する指導の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルに関する授業の充実 ・携帯電話やパソコンのフィルタリング等について保護者への啓発

あくね市「にここほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
4 子育てを支援する生活環境の整備					
(1) 良質な住宅の確保					
ファミリー向け賃貸住宅の供給支援	多様な住宅ニーズに対応し、子育て世帯を支援していく観点から、ファミリー向け賃貸住宅等の供給の支援に努めるとともに、住宅の建替え等を支援していきます。	都市建設課	●公営住宅長寿化計画策定	今年度について左記計画を策定し、将来性にわたり、子育て支援対象となる目的別公営住宅建設等を計画していく。	計画の実行のため、寺山住宅3期工事を実施し、子育て世帯が必要とする住宅建設を目指す。
公共賃貸住宅の優先入居	子育て世帯の居住の安定確保を図るため、公営住宅の利用方法や住宅資金融資制度、建物の改修・改築への助成制度及び補助事業、民間賃貸住宅に関する情報提供を進めます。小さな子どもがいる世帯に対する公共賃貸住宅における入居資格の緩和や優先入居の実施等を検討します。	都市建設課	—	—	—
(2) 良好な居住環境の確保					
安全・安心な居住環境の整備	子育て世帯が、地域において安全・安心で快適な住生活を営むことができるよう、住宅のユニバーサルデザインを推進します。	都市建設課	—	—	—
良好な住宅市街地の整備	利便性の高い市街地での居住を希望する子育て世帯のニーズの把握に努め、住民が安心して生活できる総合的なまちづくりを目指します。また、潟土地区画整理事業で整備された土地の有効利用を図っていきます。	都市建設課	—	旧保留地売却の促進	潟土地区画整理事業で整備された旧保留地の売却を促進し土地の有効利用を図るため、売却価格等の再検討を行う必要がある。
シックハウス対策の推進	室内空気環境の安全性を確保する観点から、シックハウス対策を推進するとともに、その情報提供の充実に取り組みます。	都市建設課	●換気設備の設置及び有害物質の使用制限	建築物の新築時には換気扇の設置を行い、増改築の際、内装仕上げ材には有害物質を含まない材料の使用し、有害物質の濃度測定を実施	建築物の新築時には換気扇の設置を引き続き行い、建築物の内装材等には有害物質を含まない材料を使用するように設計・工事監理を行う。
(3) 安全な道路交通環境の整備					
子どもに配慮した公共施設の整備	高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき、駅、公共施設、病院等を相互に連絡する道路について、移動等の円滑化について検討していきます。	都市建設課	●過疎対策事業（槇之浦線道路改良工事）	脇本病院にアクセスする、槇之浦線を緊急時に対応できる道路として、槇之浦線測量設計調査委託を発注した	槇之浦線の用地・補償を行い、平成24年度から工事を施工するが用地・補償交渉が課題。

あくね市「にここほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度を取組状況	平成23年度以降の課題
安心・安全な居場所づくり 歩行空間の整備	事故の危険性の高い通学路において、歩道等の整備等、安全・安心な歩行空間の創出を目指し、国土交通省の補助事業の優先的な実施を含めて取り組みます。	都市建設課	●地域活力基盤創造交付金事業（中央線・多田改良工事継続中・歩道設置含む。）平成22年度に完成予定 ●街路灯等の設置	・中央線多田道路改良 L=391.6m 施工 ・中央線大川 L=198.4m 施工	・中央線多田道路改良は残りL=180mを施工して完了予定 ・中央線大川は測量設計委託を発注するが用地・補償交渉が課題。
(4) 安心して外出できる環境の整備					
公共施設等のバリアフリー化の促進	妊産婦や乳幼児連れの家族など、すべての人が安心して外出できるよう、高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく基本構想等を踏まえ、道路、公園、公共交通機関、公的建築物等ハード面におけるバリアフリー化に取り組みます。	都市建設課	—	○中央線多田及び中央線大川道路改良工事では2.5mの歩道を設置し、バリアフリー対応のセミフラット形式で施工。	・23年度も引き続き継続して、施工していく ・公園出入り口の境界縁石等は、乗入れ型が採用され以前と比較すると乗入れも容易となっている状況にあるが、路面と乗入縁石には依然として小さい段差があり車椅子等の乗入れには支障をきたしていることから更に段差の解消を図っていく必要がある。
心のバリアフリーの推進	「心のバリアフリー」の啓発に取り組み、ソフト面からもバリアフリー化を推進します。	生きがい対策課	—	取組なし。	小さい子どもを連れた母親に限らず、お年寄りや障がいのある人に対して、地域で気軽に支援の手を差し伸べられるような気運の醸成をはかる必要がある。
公共施設等における子育て世帯にやさしいトイレ等の整備	公共施設等において、子どもサイズの便器・手洗い器、ベビーベッド、ベビーチェア、ゆったりした化粧室、授乳室の設置などの子育て世帯が安心して利用できるトイレの整備等に取り組みます。	生きがい対策課 都市建設課	—	22年度は取組なし。	各公共施設の点検。
子育てバリアフリーに関する情報提供	各種のバリアフリー施設の整備状況など、子育てに関するバリアフリー情報の提供に取り組みます。	生きがい対策課	—	取組なし	子育て情報誌によるバリアフリー情報の提供を行う。
(5) 安全・安心まちづくりの推進等					
犯罪等の防止に配慮した環境づくり	子どもが犯罪等の被害に遭わないまちづくりを目指し、道路、公園等の公共施設や居住の構造、設備、配置等について、犯罪等の防止に配慮した環境設計に取り組むとともに、住民一人ひとりの防犯に対する意識の啓発に取り組みます。また、侵入による犯罪の防止を図るため、関係機関・団体と連携して、防犯性の高いドア、窓、シャッター等の建設部品や優良防犯機器の普及促進を図ります。	総務課 都市建設課	●街路灯の設置（交通安全施設整備事業） ●通行の安全と道路周辺の環境の改善を図るため、市道の法面等の草木を伐採（道路伐開事業）	各公園の外灯補修 繁茂した公園樹木の剪定	公園は年齢に関係なく多数の住民が利用することから、防犯を意識した管理を行う必要があり、周辺地域から死角となる箇所が極力ないように適切な管理を継続していく必要がある。

あくね市「にこにこほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
5 職業生活と家庭生活との両立の推進					
(1) 仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し					
仕事と生活の調和の実現に向けた広報・啓発の促進	女性の再就職支援セミナー、子育てママのリフレッシュ講座などの充実に努め、女性支援に取り組みます。また、企業やそこに働いている個々人の意識の把握に努め、仕事と生活時間のバランスのとれた社会の実現に関する意識の醸成に一層取り組みます。さらに、子育て中の母親のためのリフレッシュ講座や男性の料理教室などを実施し、男性の家庭参画を図るとともに、保育園・幼稚園児が各企業を訪問する取組を子育て支援センターと連携して実施していきます。	企画調整課 生きがい対策課	●働く女性の家の講座の充実 ●21世紀職業財団との連携	【企画調整課】 働く女性の家の主催講座として 職能向上に関する講座 健康増進に関する講座 趣味教養に関する講座 生活支援に関する講座 男性料理教室 を実施 【生きがい対策課】 園児の企業訪問について市としての取組なし。	【企画調整課】 ・働く女性の家の利用者数は減少しており、中でも20代～40代の利用が少ないため、20代～40代を対象とした講座を充実させる。 ・主催講座から育成グループへの継続利用の促進に努める。 【生きがい対策課】 今後取組を検討していく
一般事業主行動計画の策定に向けた支援	雇用する労働者が301人以上（平成23年4月1日以降は101人以上）の事業主は、「一般事業主行動計画」の策定が義務付けられていることから、その策定の支援について検討を進め、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境の整備を行う「次世代育成支援対策」の一層の推進を図ります。	生きがい対策課	○一般事業主への情報提供	取組なし	市内の従業員101人以上の事業所への情報提供を行っていく。
次世代育成支援に関する情報提供の充実	通所保育や幼稚園で預かり保育、放課後児童クラブなどの、仕事と子育ての両立を支援する保育サービスに関して、必要な方が必要なときに利用できるよう、効果的な情報提供の充実に取り組みます。	生きがい対策課	—	広報紙やホームページにより情報提供	より市民にわかりやすく、効果的な情報発信の方法を検討する。
企業に対する研修等の充実	固定的な役割分担意識は、依然として根強く残っており、職場における慣行・しきたりの見直しと男女共同参画に関する認識を深めるための広報啓発を積極的に実施するとともに、関係機関との連携を図りながら関係法令・制度の周知に努め、就業環境の整備・充実を推進し、多様な働き方を支援します。	企画調整課 水産商工観光課	●「ワーク・ライフ・バランス」についての啓発 ○男性の育児・介護休業制度の利用促進 ○鹿児島労働局雇用均等室との連携	・鹿児島労働局雇用均等室と連携し、パートタイム労働者の相談会を実施 ・パートタイム労働法などについての説明会を実施	・今後も、就業活動の各種支援策の充実が求められる。
子育て支援に取り組んでいる企業や店舗の情報提供	子育て支援に取り組んでいる企業や店舗の情報提供を行い、他の企業や店舗への広がりや啓発を推進します。	生きがい対策課	●かごしま子育てサポート事業の推進	取組なし	今後はパスポート所持者の拡大と協賛店の拡大を図り、子育て情報誌やホームページ等での情報発信を行う必要がある。

あくね市「にこにこほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度 of 取組状況	平成23年度以降の課題
(2) 仕事と子育ての両立のための基盤整備					
仕事と子育ての両立のための基盤整備	共働き世帯の増加を踏まえ、保育サービス及び放課後児童健全育成事業の充実など、多様な働き方に対応した子育て支援を展開します。	生きがい対策課	<ul style="list-style-type: none"> ●特別保育事業の実施 ○放課後児童クラブの充実 	延長保育や一時預かり保育などの特別保育事業を実施。また、放課後児童クラブを市内6か所で実施。	今後、保護者のニーズに応じた特別保育事業の実施の検討を行う。放課後児童クラブは23年度から西目児童クラブを開設。

あくね市「にこにこほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
6 子ども等の安全の確保					
(1) 子どもの交通安全を確保するための活動の推進					
交通安全教育の推進	国の基本方針に基づき交通安全教育を段階的かつ体系的に行うとともに、交通安全教育に当たる職員の指導力の向上を図ります。また、地域活動における指導者を育成し、子どもを守る地域の取組を推進します。	総務課	●交通安全専門指導員による交通安全教室の開催	春の交通安全運動期間中、交通安全専門指導員による交通安全教室を開催し横断歩道の渡り方、信号の見方等の指導、県警ひまわり号では講和や腹話術を交えての指導が行われた。運動期間中は地域、保護者による街頭指導や若い市職員による月1回の街頭指導が行われた。	年齢に応じた段階的な交通安全教育を関係機関と連携をとりながら日常的、継続的に行い、地域や交通ボランティアによる街頭指導等の充実を図る。
チャイルドシートの正しい使用の徹底	チャイルドシートの使用効果や正しい使用方法に関する普及啓発活動を一層充実させるとともに、保護者等に対する指導・助言、情報提供等の充実を図ることでチャイルドシートを利用しやすい環境づくりに取り組みます。また、チャイルドシートの貸出事業について検討を進めます。	総務課	—	交通安全運動期間中は防災無線でのチャイルドシートの使用を呼びかけた。また朝の通勤・通学時の交通安全車での広報活動に努めた。	保育園・幼稚園でのチャイルドシートの正しい着用の呼びかけ、交通安全協会での貸し出しの情報提供を依頼するなど、広報活動に努める
自転車の安全利用の推進	交通安全教室において、自転車の安全利用の講習や広報活動を実施します。	総務課	—	交通安全専門指導員による交通安全教室の中で自転車のマナーやルール・自転車の正しい乗り方、点検の仕方等の指導。	自転車の交通ルールやマナーへの理解を深めるための交通安全教育の充実を図る
(2) 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進					
地域における自主防犯活動の推進及び防犯に関する情報の共有化	全国地域安全運動期間における防犯チラシの配布や安全パトロールを実施するほか、防犯意識の高揚を図ります。	総務課 生涯学習課	●市青少年問題協議会の開催	【総務課】 全国地域安全運動期間中の防犯チラシの配布 【生涯学習課】 7月14日11名の委員による会議の開催。(8名出席)	【総務課】 地区防犯協会、市防犯組合等と連携し、安全パトロールを実施するほか、啓発チラシの配布などに取り組む。 【生涯学習課】 協議会委員の再検討と効果的な会の運営。協議会での検討事項、意見の具体的な実践。
地域住民による安全対策の推進	地域住民の防犯に関する自主的な活動の一層の推進を図ります。また、夏祭り等において実施している青少年育成のための防犯パトロール等の取組を更に拡充します。さらに子どもの健やかな成長と子育て家庭への支援を目指したイベントを開催し、作文コンクールや絵画コンクールの一層の充実を図ります。	総務課 生涯学習課	●夏休み・冬休み期間中における街頭補導	【総務課】 校区を主な単位とした地域防犯協議会、PTA関係者との意見交換会を実施し、現状と今後の課題を検証した。 【生涯学習課】 校外生活指導連絡協議会と各学校単位PTAによる街頭補導を延べ109回、483人の参加で実施。	【総務課】 地域の防犯団体、PTA等の活動状況を把握し、防犯グッズの配布等自主的な活動の促進を図る。 【生涯学習課】 定期的な街頭補導の実施の継続。

あくね市「にこにこほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策		平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度 of 取組状況	平成23年度以降の課題
	防犯講習の実施	振り込め詐欺や不審者による声かけ事案が発生していることを考慮し、関係機関と連携、協力し、防犯講習の実施を図ります。	総務課 学校教育課		【総務課】 特になし 【学校教育課】 ・警察署の協力を得て、教職員対象の不審者対応訓練講習会を実施 ・各学校において不審者対応訓練を実施	【総務課】 悪質、巧妙化している振り込め詐欺被害防止のための講習会の実施について検討する。 【学校教育課】 ・教職員対象の不審者対応訓練講習会の改善・充実 ・各学校において不審者対応訓練、駆け込み訓練等の充実
	防犯ボランティアに対する支援	地区安全協議会などの防犯ボランティア団体に対しての物品の配布等の支援を行います。	総務課		特になし	地域の防犯団体、PTA等の活動状況を把握し、防犯グッズの配布等自主的な活動の促進を図る。
(3) 被害に遭った子どもの保護の推進						
	被害に遭った子どもの保護の推進	犯罪、いじめ、児童虐待等により被害を受けた子どもの心のケアを図り、支援するため、学校やスクールカウンセラー等の関係機関と連携を強化し、きめ細やかな支援の継続に取り組みます。	学校教育課	●スクールカウンセラー派遣事業 ●スクールソーシャルワーカー配置事業 ●相談支援事業	・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置した支援 ・関係機関との関係強化	・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置した支援の充実 ・関係機関との関係強化

あくね市「にこにこほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
7 要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進					
(1) 児童虐待防止対策の充実					
地域における子どもの見守り体制の構築	児童虐待や配偶者等からの暴力（DV）の早期発見と子どもの安全を確保するため行政・医療機関・学校・保育所・警察等の関係機関を含めた地域全体で子どもを見守る支援体制づくりに努めます。	生きがい対策課 企画調整課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ●民生・児童委員との連携 ●児童虐待防止月間におけるポスター掲示や保育所等へのチラシ配布 ●担当者による定期連絡会の開催 ●「女性による暴力をなくす運動」「DV防止法」等の周知を行い、女性に対する暴力の防止・顕在化に向けた広報啓発の推進 ●各種相談員及び相談窓口の周知及び支援に向けた情報提供と連携 ●DV防止・相談窓口などの広報・啓発 ○DV防止及び被害者支援基本計画の策定 ○DV関係庁内連絡会議の設置 	<p>【生きがい対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭相談員と民生・児童委員との連携を図った。 ・11月の児童虐待防止月間に各学校や保育園・幼稚園にポスター・チラシ配布。 ・オレンジリボン運動の実施（庁舎玄関にオレンジツリー設置） <p>【企画調整課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員を対象に、広報活動と専門的な研修会を実施 ・女性のための相談事業を実施（年4回 6月、9月、12月、3月） ・パープルリボン運動の実施 ・DV被害者への支援 <p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止について学校への周知 ・学校と学校教育課や生きがい対策課等との連携 	<p>【生きがい対策課】</p> <p>関係機関との定期的な情報交換を行い情報の共有化を図り迅速な対応を図る。要保護児童対策地域協議会において、児童虐待に関する啓発活動に取り組んでいく必要がある。</p> <p>【企画調整課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DV被害の相談件数が増えていることから、DVに対する正しい理解を広め、DVを許さないという認識を徹底する必要がある。 ・関係機関と連携し、被害者の保護・救済・生活再建に向けた支援が円滑に行われるよう、環境の整備が必要である。 <p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止について学校への周知の徹底 ・学校と学校教育課や生きがい対策課等との連携強化
要保護児童対策地域協議会の機能強化	「子どもを守る地域ネットワーク」としての要保護児童対策地域協議会の機能強化を図り、より迅速で適切な対応に努めます。	生きがい対策課	○実務者会議・ケース検討会議の定期的な開催に向けての取組	ケース検討会議は随時実施。実務者会議の定期開催なし。	実務者会議を定期的に行い、各関係機関の情報の共有化をはかる必要がある。
児童虐待に関する県との連携	児童虐待に関する出頭要求、立入調査、一時保護の実施が適当と判断した場合は、県知事又は児童相談所長に通知し、県の行う検証作業に参加・協力することが必要なため、県との連携強化に取り組めます。	生きがい対策課	●児童相談所との連携（児童虐待防止ネットワーク会議の活用）	ケースによって、随時児童相談所へ連絡し、指導を仰いだ。	困難なケースについては、児童相談所と連携し対応していく。
各種健診・指導等の機会における早期発見・早期対応	保健師等によるこんにちは赤ちゃん訪問事業等の訪問率100%を目指します。また、児童虐待の発生を予防するため、各種健診や保健指導、母子保健活動等のあるゆる機会を通じて、妊娠・出産・乳幼児期に養育支援を必要とする家庭を早期に把握するとともに、特に支援を必要とする家庭については、養育支援訪問始業等の適切な支援につなげます。	健康増進課 生きがい対策課	<ul style="list-style-type: none"> ●こんにちは赤ちゃん訪問事業、新生児訪問、乳幼児健康診査による早期発見 ●児童虐待や要支援家庭への早期対応 	保健師による訪問 新生児訪問 71件 乳児訪問 52件 こんにちは赤ちゃん事業 155件 健診未受診者への電話連絡および訪問の実施	養育支援の必要な家庭に対し、各関係機関と連携し必要に応じケース検討を実施。

あくね市「にここほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策	平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
関係機関との連携の強化及び情報の共有化	児童福祉担当課と母子保健担当課との連携の強化を図ります。あわせて、地域の医療機関、医療関係団体等との効果的な情報提供・共有がなされるための連携体制の構築を図り、虐待の早期発見、早期対応に取り組みます。	健康増進課 生きがい対策課	●ケース検討会議の開催	随時開催。	定期的な開催。
主任児童委員や児童委員等との連携強化	主任児童委員や児童委員等との連携を強化し、虐待の早期発見、早期対応に取り組みます。	生きがい対策課	●情報交換会の開催	年に数回の主任児童委員との情報交換会を実施。	主任児童委員との情報交換会は今後も継続して実施予定。地域の民生・児童委員との連携を図り、要保護児童の見守り体制の強化を図っていく。
(2) 障がい児施策の充実					
障がいの早期発見・早期対応	障がいの原因となる疾病や事故の予防及び早期発見・治療の推進を図るため、妊婦及び乳幼児に対する健康診査の受診率の向上を図ります。	健康増進課	●妊婦健康診査の支援 ●乳幼児健康診査	乳幼児健診にて、発達チェックを実施し、支援が必要な場合、子育て支援センター等関係機関と連携してフォローを実施。	親子教室を概ね年齢別にし、必要な遊びが提供できるよう子育て支援センター、こじかと協力して実施。
保健、医療、福祉、教育等の関係機関の連携強化	障がい児の健全な発達を支援し、介助する家族も含めて身近な地域で安心して生活できるようにする観点から、障がい福祉計画をはじめとする個別福祉計画との調和を図り、施策の推進に当たっては、関係各課が連携して取り組みます。	生きがい対策課 健康増進課	●出水地区ネットワーク会議（児童・療育部門）の活用 ○家庭への訪問による相談支援体制の充実	出水地区ネットワーク会議（児童・療育部門）5回/年へ参加したり、随時関係機関との情報交換を図ることで連携強化につとめた。	今後も、出水地区ネットワーク会議等を活用し、各関係機関の役割を明確にし、連携を強化していく必要がある。
障がい福祉サービスの充実	適切な医療及び医学的リハビリテーションの提供、在宅サービスの充実、就学支援を含めた教育支援体制の整備など、ライフステージにあわせた一貫した障がい福祉サービスの提供に努めます。また、児童デイサービスを通じて、保護者に対する育児相談を推進するとともに、家族への支援に取り組みます。	生きがい対策課	●児童デイサービス事業（こども発達支援センターこじか） ●障がい児学童ガッツ	児童デイサービス事業（こども発達支援センターこじか）の実施 障がい児学童ガッツの実施	在宅サービスの充実や、家族支援を充実させていくことが課題。
発達障がいを含む障がいのある児童に対する教育環境づくり	学習障がい（LD）、注意欠陥多動性障がい（ADHD）など、発達障がいのある児童生徒については、障がいの状態に応じて、一人ひとりのニーズに応じた適切な教育的支援を行います。また、発達障がいを含む障がいのある児童生徒の可能性を最大限に伸ばし、自立し、社会参加をするために必要な力を培うため、教員の資質向上を図ります。	学校教育課	●特別支援教育に関する研修会（特別支援教育コーディネーター、担当者） ●特別支援教育支援員研修会 ●就学支援委員会 ●特別支援学校教員による巡回相談の活用 ●教育相談	・特別支援教育コーディネーター研修会の実施。 ・特別支援学校巡回相談活用。 ・障がいの状態に応じて、一人ひとりのニーズに応じた適切な教育的支援を行うための教育相談の実施、個別指導計画、個別教育支援計画の作成。 ・就学指導委員会の開催	・特別支援教育支援員配置事業の継続と研修会の実施による資質の向上 ・障がいの状態に応じて、一人ひとりのニーズに応じた適切な教育的支援を行うための教育相談の実施、個別指導計画、個別教育支援計画の作成

あくね市「にこにこほがらか子育てプラン」後期行動計画取組状況

施策		平成26年度の方向性	担当課	事業名等	平成22年度の取組状況	平成23年度以降の課題
	発達障がいに関する総合的な支援	発達障がいに対する理解を深めるため、啓発及び情報提供に努めるとともに、発達障がいのある児童を保護する家族が適切な育児を行えるように支援します。また、発達障がいの可能性のある児童の保護者に対して、発達障害者支援センターにおける相談などの情報提供を行っていきます。	学校教育課 生きがい対策課	●就学指導委員会 ●県による療育相談等の情報提供及び推進	【学校教育課】 関係機関で実施される教育相談、発達相談の情報提供 【生きがい対策課】 窓口にパンフレットを置いているが、積極的な啓発や情報提供は行っていない。	【学校教育課】 関係機関で実施される教育相談、発達相談の情報提供の充実 【生きがい対策課】 広く啓発や情報提供を行うことを検討していく必要がある。
	関係機関における障がい児の受入の推進	保育所及び放課後児童健全育成事業における障がいのある児童の受け入れを一層推進するとともに、受け入れに当たっては、各関係機関との情報の共有化に努め、連携を図ります。	生きがい対策課	●障がい児を受け入れている保育園への補助	平成22年度は3保育園で4名の障がい児の受け入れに対して補助。	保育園における受け入れを推進を図る。児童クラブにおいても受け入れのための施設整備を行い、各関係機関との連携を図りながら推進していく。